

間瀬湖

(まぜこ)



全景



洪水吐から流れ出る水

ため池の概要

ため池の所在地

埼玉県本庄市

ため池の特徴

昭和初期に造られた東日本に残る最古のコンクリート式農業用ダムで、現在も農地242haをかんがっています。

洪水吐から流れ出る水が白い波を立てながら雄大な堤体を滑り降りる姿は、特に美しいと言われています。

湖周辺の谷津田地帯は、古代の条里制によって開発された埼玉県で最も古い水田地帯です。しかし、用水源は流域が狭く、流量も不安定で、3年に1度は干ばつ被害が発生していたことから、用水不足解消のために間瀬湖が築造されました。

完成後70年以上経過した今では、周辺の景観にすっかり溶け込み、ふるさと歩道にも指定されています。湖と堤体が織りなす景観は、昭和32年「新日本百景」、昭和59年「ふるさとさいたま百選」、そして昭和61年には「利根川百景」に選出されています。

また、桜の名所として多くの観光客が訪れる他、ヘラブナ釣りの名所としても有名です。

関連情報

農林水産省間瀬湖ホーム - ページ

http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/museum/m_bunka/yuukei1/index.html

ダム便覧ホームページ(財)日本ダム協会

<http://damnet.or.jp/cgi-bin/binranA/All.cgi?db4=0633>

本庄市ホームページ

<http://www.city.honjo.lg.jp/>